§拉致被害者家族支援の思いを込めて

いつ帰ってくるの

①いつの間にか　降りだした
　　雨が窓をたたく
　涙のように　流れては
　　消えて行く
　あの日の読みかけの
　　本もそのままに
　あなたの　冬のコートも
　　壁に掛けたまま
　いつ帰ってくるの
　　いつ帰ってくるの
　あんなに愛して　くれたのに
　なんでもないように
　　雨はただ降る
　冬の気配がする
　　秋の終りに

②窓の外の　赤い花も
　　風に散って落ちた
　見るものすべて　この胸は
　　悲しくて
　あの日の　飲みかけの
　　グラスも置いたまま
　あなたの好きな　あの歌
　　いつも聴いてます
　いつ帰ってくるの
　　いつ帰ってくるの
　あれから何度の　冬でしょう
　なんにもないように
　　時はただ行く
　冬の気配がする
　　秋の終りに

時よ行かないで

作詞・作曲：益田兼大朗

①冬の名残りの　裸木見つめ
　風のざわめき　聞きながら
　遠いあなたの　面影しのび
　ひとりさすらい　旅路を歩く
　　時よ行かないで　夢を残して
　　時よ行かないで　私をおいて
　悲しみはいつも　そっと訪れ
　涙を宿し　私を泣かせる

②北のさいはて　海辺の色は
　墨を薄めた　別れ色
　人はこんなに　か弱いものか
　いつもあなたの　想い出さがす
　　時よ行かないで　愛を残して
　　時よ行かないで　お願いだから
　寂しさを連れて　いつもさまよう
　涙を宿し　私を泣かせる

※時よ行かないで　夢を残して
　時よ行かないで　私をおいて
悲しみはいつも　そっと訪れ
涙を宿し　私を泣かせる